

HP Operations Orchestration 10.x

Windows および Linux オペレーティングシステム

OO Base コンテンツパックバージョン1.4.3

リリースノート

ドキュメントリリース日: 2015 年 2 月
ソフトウェアリリース日: 2015 年 2 月



ご注意

保証

HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 2014 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Adobe™ は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

Microsoft® およびWindows® は、米国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

本製品には、'zlib' (汎用圧縮ライブラリ) のインタフェースが含まれています。'zlib': Copyright © 1995-2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler.

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに変更されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。

<https://softwaresupport.hp.com>

このサイトを利用するには、HP Passportへの登録とサインインが必要です。HP Passport IDの登録は、次のWebサイトから行なうことができます。<https://hpp12.passport.hp.com/hppcf/createuser.do>

もしくは、「HP ソフトウェアサポート」ページの一番上にある[新規登録]リンクをクリックします。

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけます。詳細は、HPの営業担当にお問い合わせください。

サポート

HPソフトウェアサポートオンラインWebサイトを参照してください。<https://softwaresupport.hp.com>

このサイトでは、HPのお客様窓口のほか、HPソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧いただけます。

HPソフトウェアオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。HPソフトウェアサポートのWebサイトでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport IDを登録するには、次のWebサイトにアクセスしてください。

<https://hpp12.passport.hp.com/hppcf/createuser.do>

アクセスレベルの詳細については、次のWebサイトをご覧ください。

<https://softwaresupport.hp.com/web/softwaresupport/access-levels>

HP Software Solutions Nowは、HPSWのソリューションと統合に関するポータルWebサイトです。このサイトでは、お客様のビジネスニーズを満たすHP製品ソリューションを検索したり、HP製品間の統合に関する詳細なリストやITILプロセスのリストを閲覧することができます。このサイトのURLは

<http://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp>です。

目次

概要	5
新機能	5
機能拡張	5
コンテンツパックの統合	7
Base コンテンツパックのデプロイ	9
修正された不具合	10
既知の問題	14
制限	18

概要

本ドキュメントでは、HP Operations Orchestration Base コンテンツパック 1.4.3 リリースの概要について説明します。マニュアルやオンラインヘルプに記載されていない重要な情報が含まれています。

このリリースでは、次の言語がサポートされます。

- en - 英語
- fr - フランス語
- de - ドイツ語
- ja - 日本語
- es - スペイン語
- zh_CN - 簡体字中国語

Base Content Pack 1.4.3 は累積的なコンテンツパックです。

新機能

- 新しいオペレーション「**Operating System Detector**」が、「/Library/Utility Operations/Operating Systems/Cross Platform/」の下に追加されました。

機能拡張

- 「/Library/Operations/HTTP Client/v2.0」の下の「**HTTP Client v2.0**」オペレーションの説明が更新されました。
- JSch (Java Secure Channel) ライブラリがアップグレードされました。
- 「/Library/Utility Operations/Date and Time/」フォルダーの下のユーティリティオペレーションに、UNIX タイムスタンプのサポートが追加されました。既存の **localeLang** 入力が 'unix' に設定されている場合、オペレーションで UNIX タイムスタンプが使用されます。
- 「/Library/Operations/Wizards/Web Service/」の下の「**Invoke Method 2**」オペレーションに、2つの新しい出力 **status** と **httpResult** が追加されました。
- 「/Library/Operations/Operating Systems/Windows/Operating System Detector/」の下の「**Operating System Detector**」オペレーションに、新しい結果 **osArchitecture** と **fqdn** が追加されました。「/Library/Utility Operations/」の下にある古い「**Operating System Detector**」オペレーションは「/Library/Operations/Operating Systems/Windows/」に移動されました。
- 「/Library/Utility Operations/Remote Command Execution/」の下の「**Remote Command**」オペレーションに、新しい結果 **exitStatus** が追加されました。

- 「/Library/Utility Operations/Email/」 の下の 「**Get Mail Message**」 オペレーションに、新しい結果 **plainTextBody** が追加されました。
- 「/Library/Utility Operations/Perl/」 の下の 「**Perl Script**」 オペレーションが、Linux 上で実行される Studio、Central、または RAS で使用できるようになりました。
- 「/Library/Operations/PowerShell/」 の下の 「**PowerShell Script**」 オペレーションに、新しい非表示の入力 **hideResults** が追加されました。この入力が "true" に設定されている場合、結果のスクリーン、標準出力、および警告がオペレーションの出力に表示されなくなります。オペレーションが失敗しても、例外メッセージやスタックトレースは表示されません。

コンテンツパックの統合

次の表に、Base コンテンツパックがサポートする統合の一覧を示します。

統合名	バージョン
Active Directory	Windows 2000、Windows 2003、Windows 2008、Windows 2008 R2、Windows 2012、Windows 2012 R2
AIX	AIX 5.3
FreeBSD	6.3、7.0
JDBC	
電子メール	POP3、IMAP
Excel	1997、2000、2003、2007、2010
ファイルシステム	
HP HP/UX	B.11.31
JVM	5.0、6.0
MS Cluster	Windows 2003、Windows 2008、Windows 2008 R2
ネットワーク	
Red Hat	ES 3、AS 3、ES 4、AS 4、ES 5、ES 6.2
Perl	
PowerShell	1.0、2.0、3.0、4.0
印刷	
リモートコマンド実行	
Sharepoint	2003、2007
SNMP	1、2、3
Solaris	10
SUSE Linux	openSUSE 10.0、SUSE Enterprise Server 10

統合名	バージョン
	SP1、 openSUSE 11.0
Windows	2003、 XP、 2008、 2008 R2、 2012、 2012 R2
WMI	1.x
WS-Management	1.0.0

注: 次の統合には基本的なオペレーションだけが含まれます。高度な機能については、対応する専用コンテンツパックを参照してください。

統合名	専用コンテンツパック
JDBC	Databases
FreeBSD、 HP-UX、 Red Hat、 Linux、 Solaris、 SUSE Linux、 Windows	Operating Systems、 Infrastructure Orchestration
電子メール	Business Applications

Base コンテンツパックのデプロイ

00 プラットフォームバージョン 10.00 以降が、Base コンテンツパック 1.4.3 をサポートしています。ただし、Base コンテンツパック 1.4.3 は、既存の 00 プラットフォームバージョン 10.10 またはそれ以降にデプロイすることを推奨します。

コンテンツパックのデプロイの詳細については、『Studio オーサリングガイド』の「コンテンツパックのプロジェクトへのインポート」と『Central ユーザーガイド』の「コンテンツパックのデプロイ」を参照してください。

注: コンテンツパックのアンインストール/ロールバックの方法については、『HP 00 Central ユーザーガイド』の「前回のデプロイメントへのロールバック」を参照してください。

修正された不具合

修正された不具合の参照番号は、ALM グローバル ID 番号 (QCCR) です。

修正された不具合の詳細については、「HP ソフトウェアサポートオンライン」を参照するか、HP サポート担当者まで直接お問い合わせください。

CR 番号	タイトル	説明
QCCR8C1905	XML 入力が無効なとき、XSL 変換オペレーションは 0 バイトのドキュメントではなくエラーメッセージを返す必要がある	「/Library/Utility Operations/XML Processing/XSL Transformation」の下の「 XSL Transformation 」オペレーションの XML 入力に検証が追加されました。 。
QCCR8C2166	Apache POI ライブラリを利用可能な最新の安定バージョンにアップグレードする	ハイパーリンクがあるセルを含む Excel ファイルをオペレーションで読み取るときに、次のようなエラーが表示されます。The hyperlink for cell J208 references relation rId2, but that does not exist! そのセルのハイパーリンクを削除すると、オペレーションは正常に機能します。これまでは、フローを実行する前に Excel 内のハイパーリンクを手動で削除する必要がありました。 サードパーティライブラリのバージョンをアップグレードすることで、この問題は解決しました。
QCCR8C14627	オペレーション 「/Library/Operations/Wizards/Web Service/ Invoke Method 2」に、 status と httpResult の 2 つの出力を追加する	「/Library/Operations/Wizards/Web Service/」の下の「 Invoke Method 2 」オペレーションに、2 つの新しい出力 status と httpResult が追加されました。 。
QCCR8C17992	Excel の「Get Row Index by Condition」オペレーションで、 "org.apache.poi.hssf.record.RecordFormatException: Unable to construct record	最新の Base コンテンツパックでは、この問題が修正され、エラーは発生しなくなりました。

CR 番号	タイトル	説明
	instance” エラーが発生する。	
QCCR8C22184	Java の LDAP オペレーションと .NET オペレーションは、両方とも同じ機能を提供するにもかかわらず、同じ説明になっていない	<p>「Disable User」、「Delete User」、「Enable User」の3種類の .NET オペレーションの説明が更新され、OU 入力について他のオペレーションと同じ説明と、例が追加されました。</p> <p>OU - ユーザーが属する OU (組織単位) または CN (共通名)。</p> <p>例: CN=Users</p>
QCCR8C23568	元のファイルとコピーされたファイルの「FS MD5 Sum」オペレーションの結果が、常に "success: not equal" になる	<p>「/Library/Operations/File System/Windows Only/」および「/Library/Operations/File System/Cross Platform/」の下の「FS MD5 Sum」オペレーションで、大文字と小文字が区別されなくなり、予期される動作に従って正しい応答を返すようになりました。</p>
QCCR8C25216	InvokeMethodV2 が、有効化された SSL プロトコルの構成を許可しない	<p>InvokeMethodV2 は、POODLE 脆弱性に対処するため、TLS 1.0 の下でセキュアトランスポートレイヤープロトコルを許可しないようにする必要があります。この場合、InvokeMethodV2 は、ターゲットサーバーでサポートされる TLS 1.0 以上のプロトコルを使用するように構成されます。</p>
QCCR8C25826	「Write to File」オペレーションが、UTF エンコードされたファイルに必ず BOM を追加するため、「Read File」オペレーションが、OO によって前に書き込まれた文字列の読み取りに必ず失敗する	<p>「Write to File」オペレーションが、UTF エンコードされたファイルに必ず BOM を追加するため、「/Library/Operations/File System/Windows Only/」の下の「Read File」オペレーションが、OO によって書き込まれた文字列の読み取りに失敗していました。</p> <p>「Read File」オペレーションが、BOM (Byte order mark) が含まれる UTF エンコードされたファイルで正しい結果を提供するようになりました。</p>
QCCR8C26158	HTTP クライアント v1 のオペレーションを使用する OOTB フ	<p>HTTP クライアント v1 を使用する OOTB フローの説明で、trustAllRoots のデフォルト</p>

CR 番号	タイトル	説明
	ローで、trustAllRoots のデフォルト値が説明では false になっている	が True になりました。
QCCR8C26328	セキュリティの問題	
QCCR8C26330	セキュリティの問題	
QCCR8C26437	TA 不具合: Red Hat でサブスクリプション中に、MOE の計算が「Rename XML file」ステップで失敗する	「/Library/Operations/File System/Windows only/」と「/Library/Operations/File System/Cross Platform/」の下の「 FS Create Temp File 」オペレーションが、プロンプトの "directory" 入力に値が指定されない場合、または "directory" 入力が [定数を使用する] から値を取得するように設定されていても [定数を使用する] に値が指定されていない場合に、一時ファイルディレクトリ内に一時ファイルを作成するようになりました。
QCCR8C26290	Solaris 11 に対する SSH およびアルゴリズムネゴシエーションの失敗エラーメッセージ	以下に示す SSH オペレーションが、新しい暗号 aes128-ctr 、 aes256-ctr 、 arcfour 、 arcfour128 、 arcfour256 をサポートするようになりました。 <ul style="list-style-type: none"> • /Library/Operations/Remote Command Execution/SSH/v2.0/SSH Command • /Library/Operations/Remote Command Execution/SSH/v2.0/SSH Shell • /Library/Operations/Remote Command Execution/SSH/v2.0/SSH Shell Logon 全体では、次の暗号をサポートします。 aes128-ctr 、 aes128-cbc 、 3des-ctr 、 3des-cbc 、 blowfish-cbc 、 aes192-ctr 、 aes192-cbc 、 aes256-ctr 、 aes256-cbc 、 arcfour 、 arcfour128 、 arcfour256
QCCR8C26408	HTTP クライアントアプリケーションで、NTLM 認証を使用し、ドメインを指定しないと、Null ポインター例外がスローされる	HTTP 要求を作成する前に、オペレーションが (username 入力または domain 入力から) NTLM 認証が設定されているかどうかと、ドメインが存在するかどうかを確認します。

CR 番号	タイトル	説明
QCCR8C26502	00 10 SSH オペレーションでの readTimeout 入力の再導入	「/Library/Operations/Remote Command Execution/SSH/Shared Sessions」の下の「SSH Shell」オペレーションに、新しい入力 readTimeout が追加されました。オペレーションがタイムアウトになって失敗することがないように、この入力のデフォルト値は 20 秒になっています。
QCCR8C26595	ユーザーにプロンプトを表示するように入力が設定されている場合、「String Equals」オペレーションがスクリプトレットエラーで失敗する	「/Library/Utility Operations/Math and Comparison/」の下の「String Equals」オペレーションが、正しく完了するようになりました。
QCCR8C26724	[Http クライアント v2] 「Http Client Get」オペレーションが、クエリパラメーター内のスペースを正しくエンコードできない	この問題は、「HttpClient」および「HttpClientGet」オペレーションに新しい入力 queryParamsAreFormEncoded を追加することで解決しました。後方互換性が維持され、入力の説明と v2.0 フォルダの説明に、新しい機能に関する詳細な情報が記載されています。

既知の問題

既知の問題の詳細については、「HP ソフトウェアサポートオンライン」を参照するか、HP サポート担当者まで直接お問い合わせください。

/Operating Systems [1.2.0-SNAPSHOT]/Library/Accelerator Packs/Operating Systems/SUSE Linux/Information Gathering/Memory Metrics

「/Operating Systems [1.2.0-SNAPSHOT]/Library/Accelerator Packs/Operating Systems/SUSE Linux/Information Gathering/」の下の「**Memory Metrics**」フローが、「Remote Command (Base)」サブステップで、**top -b -n1** コマンドの実行中に失敗します。

Powershell スクリプトの偽装がローカルホストで失敗する

特権を持つユーザーを必要とする PowerShell オペレーションのコマンドレットまたはスクリプトを実行したときに、ワーカーサービスユーザーアカウントが特権を持っていない場合、偽装は機能しません。

「/Library/Operations/PowerShell/PowerShell Script」オペレーションが JRAS 権限を使用する

ループバックアドレスが **host** として指定されており、オペレーションがサービス (RAS など) から実行された場合、指定された **username** の権限は更新されません。

JDBC 統合に必要な MySQL JDBC コネクタがサードパーティで除外されている

JDBC 統合に必要な MySQL JDBC コネクタがサードパーティで除外されているため、クライアントで追加する必要があります。この存在しない依存関係を追加する標準の方法は、`third-party-cp.jar` をアーティファクトとともにデプロイすることです。しかし、00 10.02 では、依存関係がプラグインの POM で宣言されていないと、これは効果がありません。

ただし、JDBC オペレーションはこの依存関係なしでも動作する必要があるため (他のデータベースのために)、この依存関係は宣言できません。

Netcool DB に対して SQL クエリを使用する場合、データベースの指定が強制されるべきではない

「/Library/Operations/Databases/JDBC/SQL Query」の下の「**SQL Query**」オペレーションを使用するには、データベース名の入力が必要です。値を指定すると、オペレーションは正常に完了しますが、Netcool ログにエラーが書き込まれます。

Netcool データベースに対する SQL オペレーションでセミコロンが使用できない

「Operations/Databases/Microsoft SQL」の下の「**SQL query**」オペレーションは、いずれかのフィールドのデータにセミコロンが含まれていない限り、Netcool データベースに対して正しく動作します。オペレーションの区切り文字がパイプ文字にカスタマイズされた場合、結果は NULL のままです。同じオペレーションが、セミコロンを含まないデータを返す場合は正しく動作します。

「Change Service Status」の requestedstatus フィールドで入力が一時的に停止するとオペレーションが失敗する

「Operations/Operating Systems/Windows/Services」の下の「Change Service Status」オペレーションは、requestedstatus フィールドの入力に値 'paused' があると失敗します。

サンプルフロー「Move Emails」がオブジェクトを正しくないメールボックスに配置する

「Operations/Exchange/Exchange 2010/Samples/Emails」の下の OOTB フロー「Move Emails」は、選択したアカウントがメールボックス所有者に属していない場合、選択したメールボックスのオブジェクトを移動できません。

Date Parser が大きなミリ秒値を正しく変換しない

「/Library/Utility Operations/Date and Time/」の下の「Date Parser」オペレーションは、2³² 以上の入力値を正しく変換しません。このため、出力日付の範囲が 12/7/1969 ~ 1/25/1970 に制限されます。

「Operating System Detector」で、ReturnResult の末尾に印刷不可能な文字が残される

「Operating System Detector」オペレーションによって ReturnResult の末尾に印刷不可能な文字が残されます。返された値を一致の種類 RegEx とパターン ".*" で「String Comparator」オペレーションに渡そうとすると、不一致エラーが発生します。

「/Library/Operations/File System/Windows Only/Excel/Get Cell」オペレーションを OLE オブジェクトを含む Excel ファイルに対して使用すると、失敗に終わる

「/Library/Operations/File System/Windows Only/Excel/」の下の「Get Cell」オペレーションを使用して Excel シートを読み取るフローを実行する場合、Excel ファイルに OLE オブジェクト (チェックボックスなど) が含まれていると、オペレーションは失敗し、エラーメッセージが表示されます。

SFTP オペレーションが非パスワード認証に対して動作しない

SFTP オペレーションは非パスワード認証に対して動作しません。

パスフレーズレスキーを使用してリモートホストに認証しようとする、パスワード入力が空であるという理由で失敗します。

「Offset Time by」オペレーションが解析不能の日付のために失敗する

オペレーション「/Library/Utility Operations/Date and Time/Offset Time by」が解析不能の日付のためにエラーを発生します。

次の入力を空白に設定すると、オペレーションは正しく動作します。

localeLang =

localeCountry =

RAS が日本語版の Windows 2008、VISTA、または Windows 7 上で設定されている場合、Local

Ping は正しく動作しません。

日本語 Window 2008、VISTA、または Windows 7 オペレーティングシステムで RAS が定義されている場合、ローカル ping オペレーションは正しく動作しません。

回避策:

この問題は、コードを次のように編集することで修正できます。

「**Local Ping**」オペレーションによって作成される一時 bat ファイルの先頭に、chcp 437 を追加します。

chcp.com 437 によってコードページが OEM United States に設定されるため、ping コマンドの出力がローカライズされなくなります。

「/Base [1.4.0-SNAPSHOT]/Library/Operations/Operating Systems/Cross Platform/Command Line」オペレーションに説明がない

「/Library/Operations/Operating Systems/Cross Platform/」の下の「**Command Line**」オペレーションに説明がありません。

SQL Server のバイナリデータが 00 でバイナリとして返されない

SQL Server データベースでタイプが **binary(16)** の列のクエリを 00 から実行した場合、結果がデータベースの内容と一致しません。

IPv6 の制限

[IPv6][WMI] - 「Java」フォルダーの「WMI」オペレーションを IPv6 アドレスを使用して実行できない

「Java」フォルダーの「WMI」オペレーションを実行すると、IPv6 アドレスを使用している場合に失敗します。これはサードパーティの問題 (j-Interop) によるものです。

同じオペレーションを IPv4 アドレスで実行すると成功します。

次の Base コンテンツパックフローは「**Operations/WMI/Java**」に依存するため、IPv6 では動作しません。

- 「/Operations/Operating Systems/Windows/Processes」の下の「**Get Processes By Name**」
- 「/Operations/Operating Systems/Windows/Processes」の下の「**Get Process PID**」
- 「/Operations/Operating Systems/Windows/Processes」の下の「**Get Windows Processes**」
- 「/Operations/Operating Systems/Windows/Processes」の下の「**Get Process Counters**」
- 「/Operations/Operating Systems/Windows/Processes」の下の「**Get Task List**」
- 「/Operations/Operating Systems/Windows/Samples/」の下の「**WMI Query**」

「/Operations/Remote File Transfer/WebDAV」の下の「**WebDAV**」オペレーションは、サードパーティの問題 (Jakarta Slide、Commons HttpClient) により IPv6 では動作しません。

「/Operations/Powershell/Network」の「**Configure Network Adapter**」オペレーションは、Windows Server 2012/Windows 8 より前の Windows バージョンでは IPv6 インタフェースを設定できません。

「/Operations/Operating Systems」の下の「**HP-UX**」オペレーティングシステムは、IPv6 では検証されていません。

「/Operations/Operating Systems」の下の「**AIX**」オペレーティングシステムは、IPv6 では検証されていません。

「/Operations/Remote Command Execution」の下の「**Remote Command**」オペレーションの ROSH (Remote Opsware Shell) および GlobalShell (Opsware Global Shell) プロトコルは IPv6 では検証されていません。これらのプロトコルは HP Server Automation の製品と統合されており、これらの製品はまだ IPv6 で検証されていません。

「/Operations/Remote Command Execution/Remote Command」の **rexec** プロトコルは、rexec サーバー (rexecd デーモン) が IPv6 接続をサポートしないため、IPv6 をサポートしません。

非推奨のオペレーションは IPv6 では検証されていません。

制限

CR 番号	タイトル	説明
QCCR8C24078	「Create Local Group」フローで英数字以外の文字を使用すると、フローは成功するが、例外が発生してアカウントは作成されない。	「Library/Operations/PowerShell/Utility」の下の「 Create Local Group 」フローが、英数字以外の文字が使用されていても正常に完了するようになりました。

